

一箕地区青少協広報

令和8年2月号 発行責任者 一箕地区青少年健全育成推進協議会会長 猪俣 佐登子

あいづっこ宣言作文コンクール 表彰式・発表会

一箕地区文化創造祭



10月26日(日)一箕地区文化創造祭にて表彰式・発表会を行いました。

受賞者名

	学校名	学年	氏名
特選	一箕小学校	6年	レディングトン咲桜
	松長小学校	6年	長澤 結人
	一箕中学校	3年	小澤 遼祐
特別賞	一箕小学校	6年	佐藤 楽妃
	一箕中学校	1年	小林 楓舞
入選	一箕小学校	1年	土屋 芽生
		2年	喜多見 和輝
		3年	箕輪 乙葵
		4年	五十島 結
		5年	佐藤 美來
	松長小学校	1年	進藤 百花
		3年	星 幸希
		4年	星 志遠
		5年	佐藤 みお
	一箕中学校	1年	久保田 結菜
		2年	民部田 彩花

参加総数 97名

令和七年十一月二十日(木)福島市のパルセいいざかコンベンションホールで福島県青少年健全育成推進大会が開催されました。今回一箕地区の住民の皆さんのおかげで福島県青少年育成県民会議会長表彰、青少年指導者の部で受賞させていただきましたことになり賞状を頂きました。私個人としては、少年センターの補導員、地区の青少協の役員等、賞状をいただく様な事

はしていませんが...推薦を受けて受賞の栄誉を賜りました。この受賞を受け、まだまだやるべきこと、できることがあるだろう、本当に力を出し切ったのか？反省することばかりでした。初心に帰り、地元の一箕地区の為、子供たちの為出し惜しみせずに頑張ろうと誓いました。どうぞ何かあればお声をかけていただき叱咤激励をしてください。お願いします。

福島県青少年健全育成推進大会に参加して

一箕地区青少年健全育成推進協議会

会長 猪俣 佐登子

あいづっこ宣言 作文コンクール

特選、特別賞に選ばれた
五名の作品をご紹介します。

特選 「夢があれば」 一箕小六年 レディングトン 咲桜

私には、叶えたい夢がたくさんあります。ですが、その中でもどうしても叶えたい夢が一つあります。それは、将来、養護教諭になることです。

私は、医りように関する仕事、または、学校に関する仕事につきたいと、ずっと思っていました。なぜ私が、医りように関する仕事に興味をもったかという、人を助ける姿がカッコ良いから、また、私は、人のお世話をするのが好きだからです。同じく、なぜ学校に関する仕事につきたかったかという、子どもが好きだからです。このようにどちらもみ力的で、ずっと迷っていました。そして、ある日、家で見つけた「お仕事図かん」を読みました。「養護教諭」というページを見つけた。その時、私は、まだ、「養護教諭」とは何か全く知りませんでした。が、何かは全く知りませんでした。何かは知らずに、そのページを読んでもみしました。すると、その「養護教諭」とは、保健室の先生のことでした。それはまさに、私がなりたいと思っていた仕事二つが組み合わさった夢のような仕事でした。この仕事をみつけた時は、とてもおどろき、本当にうれしかったです。やりたい仕事がちかも叶えることができる仕事だったからです。その時、そのしゅ

ん間私の将来につきたい仕事が決まりました。

私が、養護教諭になると決めてからは、ときどき、休み時間に保健室に行き、保健室の先生の話を聞きにいったりしました。「どうしたら養護教諭になれるのか」「この大学に行けば養護教諭になれるのか」「どの資格を取ったら養護教諭になれるのか」などと、たくさん質問をしました。それに対して保健室の先生は一つ一つ丁寧に質問に答えてくれました。その一つは、すぐにあきらめないことだと思っています。私は、うまくいかない、あきらめてしまいがちなので、あきらめないよう努力したいです。二つ目は、何にでも努力することが大切だと思います。努力を続けるのはむずかしい時があるけど、自分なりに努力してがんばりたいです。

養護教諭になるために出来ること一つ一つをせい一杯やって「養護教諭」という夢を叶えたいです。また、自分の目標が出来たからこそ、どんなに難しいことも、あきらめないよう心がけ、どんなことがあってもがんばります。

特選 会津っこ宣言 松長小 六年 長澤 結人

ぼくが会津っこ宣言で大事にしたい事は、三つあります。

一つ目は、「ありがとごめんなさいを言います。」です。その理由は、ぼくはたまにじゅ業中に友達に教えてもらうこと

があります。その時に、教えてもらった後にぼくは、ありがとと言います。そうすると友達もうれしい気持ちになります。自分も良い気分になります。逆にぼくが友達にちよっかいをかけてしまったいやな気分にならしてしまつた時は、しつかりごめんなさいを言うとお互手が許してくれて仲直りすることが出来ます。だからぼくは「ありがとごめんなさい」と言う言葉が大事だと思います。

二つ目は、「がまんをします」です。その理由は、例えばぼくは休み時間などに早く遊びたくてがまんできずに走ってしまふことがあります。他にもじゅ業中に先生がいけない間やいる間でがまんできずに友達と喋ってしまうことがあります。あとがまんをできないとトラブルのもとになって危ないのでがまんするのが大事だと思いました。

三つ目は、「ひきょうなふるまいをしません」です。その理由は、ぼくは宿題の時分らない問題があつたらたまに答えを見る時があります。あととほんどくさい問題があつたらたまに友達の答えを丸パクリすることがあります。そうゆうことをすると自分は悪くなるし友達からも教えてもらえなくなってしまう。あとひきょうなことばかりしているとしょう来がこまるし大人になつてもなんのやくにもたないからです。だからしっかりと自分の力でやればスッキリするしちよつとも成績をのぼすことができるのでぼくは「ひきょうなふるまいをしません」と言う言葉が大事だと思います。

作文を書いてみて会津っこ宣言がとても大切なものだと思います。その中でも特に、「ありがとごめんなさいをい

ます」「がまんをします」「ひきょうなふるまいをしません」のその三つが特に、良かったと思えました。その理由は、この言葉は大人になつても使われるしこれからの中学、高校でもとても役に立つからです。だからこれからもこの三つを大事にしてすごしたいです。

特選 将来の夢 一箕中 三年 小澤 遼 祐

私は将来救急救命医になりたいという夢がある。そのきっかけは昨年の職場体験で病院へ行つた事だった。職場を選択するにあたって病院にこだわりがあつたわけではない。親が医療機関で仕事をしていることもあり、何となく病院を選んだのだ。

実際の職場体験の現場で一番印象に残つたのが救命救急センターである。他の科よりも一層忙しそうにしていたのが救命救急センターの人達だった。ドクターカーやドクターヘリで患者さんが運ばれて来て、処置を受けるところを見学した。運ばれて来る患者さんの治療に迅速にあたる医療スタッフがかっこいいと思つた。私はドラマやドキュメンタリーで救命救急センターの仕事を見たことがある。しかし実際に生で見ると緊張感やスピード感、命に対する思いや治療にあたる迫力がより強く感じられた。その凄さに圧倒された。そして憧れた。その時から私の将来の夢が救急救命医になつた。

救命救急センターについて説明を受けた時、救命科は冷静な判断力、高い集中力、粘り強さ、コミュニケーション力の四つが特に必要であると言われた。夢に

向かって今私にできることをしようと思いい、私はその四つを心掛けるようになった。

しかし、その全てを状況に依じて的確に使い分けることはとても難しい。一つをやるうとすると、一つができなくなってしまう。高い集中力を保とうとすると、コミュニケーションをとれていなかったり、その逆になってしまったりする。集中力を長時間維持しながら粘り強く取り組むことも難しいことである。そこで自分が今、何をすべきかを考えてみた。集中力や粘り強さは少しあると思う。しかし冷静な判断力やコミュニケーション力が不足しているように思う。

私は特に苦手なコミュニケーション力を高めることから始めようと思った。まず、ボランティア活動に積極的に参加したり、より多くの人に挨拶するよう心掛けた。そして相手の話に今まで以上に耳を傾けるようにした。その結果、人と話す機会が多くなり、相手に認めてもらえるようになり、自分に自信が持てるようになってきた。これからも努力しながら自分を高めていきたい。将来の夢を持ちそこに近づこうとすることで日々の生活や勉強に目標ができ、前向きに取り組めるようになった。

夢はすぐに叶うものではない。途中躓くこともある。でも将来の夢のために努力を続けていこうと思う。その過程を積むことで、私を人として成長させてくれるのではないかと思う。

夢に向かって頑張ることは人生を大切にすることであり、諦めずに挑戦し続ける姿こそ大切であるということ。私はあいづっこ宣言から学んだ。

特別賞 会津をほこり年上をうやまいます
一箕小 六年 佐藤 樂 妃

私は会津若松市で生まれ育っています。私はこの会津若松市が大好きです。なぜなら、自然が多くて四季折々の風景を楽しめるからです。夏は湖で泳ぐことができ、冬は雪遊びやスキーをすることが出来ます。

また、会津にはたくさんのおいしい食べ物があります。全国的に有名な喜多方ラーメンやソースカツ丼、伝統的な郷土料理のこづゆやいかにんじんがあります。どれもおいしくてとても魅力的な食べ物です。

そして会津には白虎隊の歴史があります。白虎隊とは、戊辰戦争の会津戦争で、会津藩が組織した少年兵士隊のことです。私の家の近くの飯盛山は白虎隊の少年達が城が燃えていると思ってしまう、自ら命を絶つたとされる場所です。今では観光地として多くの人でにぎわっています。会津に来ていた修学旅行生を多く見かけますが、修学旅行の行き先には選ばれるような場所で暮らしていることをほこりに思います。

私は白虎隊を尊敬しています。それは、今の時代は命を大切に教えられていますが、白虎隊の少年達は命がけで藩を守ろうとしたからです。今という高校生の少年達の話です。私は命をかけることもできないし、想像もできません。今の時代に生まれてよかったと同時にこういう歴史があつたの今なので白虎隊への尊敬の思いが強くなります。

日常でも、仕事をがんばってくれてくれる両親、勉強を教えてくれる学校の先生

や習い事の先生、体の不調を治してくれのお医者さん、登下校を見守ってくれている地域のボランティアの方達など私と関わる目上の方のことはみんな尊敬しています。先日、ある飲食店に行った時にいやな様子を目撃しました。それは若い女性の店員さんが高齢の男性の店員さんに対してとてもえらそうに指示をしていました。「あれやって」と言うと、男性が「はい」と返事していました。仕事上の立場だったり、いそがしかったというのかもしれないと思いますが、私は「男性がかわいそう。女性は絶対年下なのになんで敬語を使わないのだろうか。やさしい言い方ができないのだろうか。」と思いましたが、そもそも年上を敬う気持ちがあれば、こんな言い方はできないはず。

テレビでも同じような場面を見たりもします。会津っこ宣言は会津だけでなく全国の人に知ってもらいたいです。これからも私は年上を敬います。そして私もだれかの年上です。年下の人に敬ってもらえるような行動をしていきたいと思えます。

特別賞 会津を誇り年上を敬う
一箕中 一年 小林 楓 舞

みなさんは「あいづっこ宣言」で何が一番印象に残っていますか？ぼくは、「会津を誇り年上を敬います」が印象に残っています。印象に残っている理由があります。

まず、この「会津を誇り年上を敬います」には三つの意味があります。一つ目は豊かな自然や、社会体験を通して、会津若松市のことをよく知るといふことで

す。二つ目は、会津の文化を学び、先人たちや身近な人を敬うということです。最後は生まれ育った故郷を誇りに思い地域を愛する気持ちを持ちましようといふ三つの意味が重なりあつてこの宣言が成り立っています。

そして、なぜぼくがこの「会津を誇り年上を敬います」が印象に残っているかと言うとこの宣言には何か深い意味があると思つたことです。まず、この「年上を敬います」には昔の会津戦争でこの会津若松市を先輩たちが守ってくれた事を、感謝すると言ふ意味があるとぼくは思っています。

次に、「会津を誇り」についてです。これは三つの意味にもあつた通り、生まれ育った故郷を誇りに思い、地域を愛する気持ちをもつと言ふことです。そして、この二つが合わさつて「先輩たちが守りぬいてきたこの会津若松を誇りに思い、愛し、毎日を過ごす」という意味があると考えています。この会津には歴史もいっぱいあり、自然や優しい人たちがいっぱいいて、ぼくはこの会津が好きなのでこの「会津を誇り年上を敬います」が一番印象に残っています。

また、あいづっこ宣言ができた理由もあります。それは、会津の伝統的な規範意識を踏まえ、会津で育つ子どもたちが「このような子どもに育ってほしい」ということから、あいづっこ宣言ができたそうです。それを知って僕はますます故郷会津を誇りに思うようになりました。この歴史や文化、自然などがたくさんある会津若松市。僕はこれからもずっと好きでいたいのです。そして、あいづっこ宣言を意識して毎日を過ごしていきたいです。

あいさつ運動

春季	四月 九日	一箕小
	四月 十日	一箕中
	四月 十一日	松長小
秋季	十一月 五日	一箕小
	十一月 六日	一箕中
	十一月 七日	松長小

春季と秋季に各学校の校門付近で登校してくる生徒に朝のあいさつをしました。元気にあいさつを返してくれる子、ちよつぷり恥ずかしそうにあいさつする子。一日の始まりにあいさつをすることはとてもいいことです。

各家庭でもされていると思いますが、返事でもその子の体調等が分かります。毎日あいさつをして元気な子どもになるようにご家庭の協力をお願いします。



祭礼啓発活動

七月 十九日	八幡神社
八月 一日	蚕養神社
八月 二日	松長団地夏祭り
八月 三日	居合山神社
九月 六日	諏訪神社

「あいづっこ宣言」の文言が入っているポケットティッシュを配布しました。

のぼり旗掲揚キャンペーン

七月二十七日気持ちよく晴れた日に、今年度の「のぼり旗掲揚作業」をしました。一箕地区の五校の入り口に、あいづっこ宣言の青いのぼり旗を掲揚させて頂く活動です。委員の方のご協力のもと、十時に公民館に集合して、二手に分かれそれぞれを担当校に向かいました。結束バンドや紐などでのぼり旗を固定します。風でくるくる巻き付かないように工夫してもらい、あいづっこ宣言の文言がきれいに見えるようにつける事が出来ました。暑い時期の活動なので十一時に解散できた事は、ご参加いただいた委員の皆さんのおかげです。ありがとうございます。一か月の間、のぼり旗は各学校で見守り活動をしてくれたと思います。八月二十四日には撤去作業があり、こちらもまた、委員の方の素早い動きにより、三十分程で解散することができました。青少協では、今後も皆様にお手伝い頂きながら、楽しくあいづっこ宣言を繋げていきたいと思っておりますので、よろしくお願致します。



文化創造祭

今年の一箕地区文化創造祭において、私たち青少協は子どもスポーツ部会として子ども向けゲームコーナー（風船、スーパードールすくい、クジ、射的、輪投げ）を担当させて頂きました。当日はあいにくの雨天でしたが、多くの子どもたちが来場し、活気あふれる一日となりました。特に室内で遊べる射的や輪投げが大人気でした。子どもたちの夢中な笑顔や歓声を間近で見ることができ、私たち運営側も大きな喜びを感じました。「楽しかった」という声を聞くことができ私たちも嬉しかったです。悪天候にもかかわらず、各役員の皆様のご協力のおかげで、文化創造祭を成功裏に終えることができました。今年来場できなかった方々は来年は是非ご来場いただき、様々な展示、発表を見てバザーや飲食スペース、各種ゲームをお楽しみください。

第64回 会津若松市民文化祭参加行事

一箕地区文化創造祭

2025

とき 10月26日

ところ ふれあい体育館

【主催】一箕地区文化創造祭実行委員会
 【共催】会津若松市教育委員会
 【お問合せ先】事務局(一箕公民館)
 ☎(0242)25-0997

一箕地区ひとみ創造ネットワーク(ひとみネット)は、一箕地区の地域づくりのための「住民組織」です。

QRコード、ホームページ、LINE

～人生100年時代 楽しいふれあいを求めて～

8:45～ 開会式・オープニングイベント(メインアリーナ)

8:45～ 一箕小学校合奏部演奏 初参加

9:30～ 「あいづっこ宣言作文」コンクール発表・表彰 (一箕地区青少年健全育成推進協議会)

10:00～ 一箕中学校白虎隊剣舞

10:20～ 本滝沢彼岸獅子(本滝沢彼岸獅子保存会)

